



## 2019年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月4日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 金子 俊浩 TEL 03-3486-3331  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 2019年8月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年11月期第2四半期の連結業績（2018年12月1日～2019年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第2四半期	268,986	△5.6	16,088	0.8	16,937	2.4	9,556	5.4
2018年11月期第2四半期	285,004	2.8	15,961	7.9	16,543	8.5	9,070	12.7

(注) 包括利益 2019年11月期第2四半期9,545百万円 (△13.2%) 2018年11月期第2四半期11,001百万円 (△24.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第2四半期	66.81	—
2018年11月期第2四半期	61.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第2四半期	426,379	272,535	54.3
2018年11月期	419,736	266,100	53.9

(参考) 自己資本 2019年11月期第2四半期 231,514百万円 2018年11月期 226,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2019年11月期	—	20.00	—	—	—
2019年11月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2019年11月期(予想)の期末配当金につきましては、創業100周年記念配当5円を含んでおります。

### 3. 2019年11月期の連結業績予想（2018年12月1日～2019年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△4.1	33,200	0.4	34,400	0.1	18,400	0.4	128.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名） 、除外 1社（社名）株式会社カナエフーズ  
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表および主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年11月期2Q	150,000,000 株	2018年11月期	150,000,000 株
② 期末自己株式数	2019年11月期2Q	6,957,593 株	2018年11月期	6,956,925 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年11月期2Q	143,042,781 株	2018年11月期2Q	147,044,101 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	11
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	13
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）	13
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	14
(5) 営業外・特別損益の主な増減内容	15
(6) 貸借対照表の概要、増減内容	15
(7) キャッシュ・フローの主な増減内容	15
(8) 主要な経営指標等の推移	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

当社グループは、2019年に創業100周年を迎えるにあたり、グループの長期ビジョンとして「キユーピーグループ2030ビジョン」を策定しております。「2030ビジョン」を掲げることでグループの想いを1つにし、世界に貢献できる事業分野を伸ばすと同時に、社会的な課題に取り組み、広く共感されるグループをめざしております。

また、2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画を策定し、国内での持続的成長と海外での成長加速を実現するため、3つの経営方針（国内では3事業に集中し食の主役化を推進、海外では中国・東南アジアを中心に展開を加速、環境変化に対応した経営基盤の強化）を定めております。

・売上高

前年度に実施した事業譲渡や国内の鶏卵相場下落などの影響により、2,689億86百万円と前年同期に比べ△160億18百万円（△5.6%）の減収となりました。

・利益

労務費などのコスト増加や前年度に実施した事業譲渡による影響を受けましたが、海外の売上増加や付加価値品の伸張などが進み、営業利益は160億88百万円と前年同期に比べ1億27百万円（0.8%）、経常利益は169億37百万円と前年同期に比べ3億94百万円（2.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は95億56百万円と前年同期に比べ4億86百万円（5.4%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調理・調味料	91,338	91,770	432	0.5%
サラダ・惣菜	61,198	44,263	△16,935	△27.7%
タマゴ	49,588	49,038	△550	△1.1%
フルーツソリューション	8,172	7,857	△315	△3.9%
ファインケミカル	4,798	4,261	△537	△11.2%
物流	67,000	69,216	2,216	3.3%
共通	2,906	2,577	△329	△11.3%
合計	285,004	268,986	△16,018	△5.6%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調理・調味料	9,777	10,803	1,026	10.5%
サラダ・惣菜	1,927	1,164	△763	△39.6%
タマゴ	3,865	4,025	160	4.1%
フルーツソリューション	542	121	△421	△77.7%
ファインケミカル	377	377	0	0.0%
物流	2,158	2,114	△44	△2.0%
共通	771	781	10	1.3%
全社費用	△3,458	△3,299	159	—
合計	15,961	16,088	127	0.8%

## 調理・調味料

- ・海外のマヨネーズ・ドレッシングが好調に推移し増収
- ・海外の増収効果や不採算商品の見直しなどにより増益

## サラダ・惣菜

- ・前年度に実施した事業譲渡の影響や、葉物野菜の相場下落によるカット野菜の需要減少により減収減益

## タマゴ

- ・国内の販売量は増加したが、鶏卵相場下落の影響により減収
- ・米国の乾燥卵相場上昇の影響や国内の付加価値品の伸張などにより増益

## フルーツ ソリューション

- ・ジャム・スプレッドは好調に推移したが、食品メーカー向けの販売減少などにより減収
- ・調理食品の他事業への生産移管の影響などにより減益

## ファインケミカル

- ・医療機器ビジネスは順調に推移したが、前年度に実施した医薬用EPAの事業譲渡の影響により減収増益

## 物流

- ・共同物流などの既存顧客の取扱い拡大が進み増収
- ・運送・保管の合理化は進展したが、事業拡大や体制強化に伴う人件費などの増加により減益

## 共通

- ・食品メーカー向け製造機械は販売減少したが、収益性の改善により減収増益

## (2) 財政状態に関する説明

## ◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,263億79百万円と前連結会計年度末に比べ66億43百万円増加  
主に建設仮勘定、無形固定資産のその他に含まれる商標権の増加による
- ・負債は、1,538億43百万円と前連結会計年度末に比べ2億7百万円増加  
主に長期借入金の増加、流動負債のその他に含まれる未払金の減少による
- ・純資産は、2,725億35百万円と前連結会計年度末に比べ64億35百万円増加  
主に利益剰余金の増加による

## ◇キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、490億5百万円と前連結会計年度末に比べ10億34百万円増加
- 各キャッシュ・フローの状況
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、法人税等の支払いなどにより167億80百万円の収入（前年同期は175億37百万円の収入）
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより172億85百万円の支出（前年同期は135億16百万円の支出）
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、配当金の支払いなどにより16億41百万円の収入（前年同期は34億61百万円の支出）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2018年12月からの3年間を対象とする中期経営計画において、国内での持続的成長と海外での成長加速の実現をめざすとともに、変化する社会的な課題に取り組むなど今後の成長に向けた経営基盤の強化を進めております。

初年度となる2019年度は、主原料価格の変動や個人消費の変化など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われまます。

そのような中、当社は創業100周年を迎えることから、記念のイベントや消費者キャンペーン、記念配当などで日頃の感謝をお伝えするとともに、市場の活性化にもつなげてまいります。

また、日本国内においては、調理・調味料事業、サラダ・惣菜事業、タマゴ事業に集中して「食の主役化」を推進し、利益創出力を向上させてまいります。そのために、最適な生産体制の構築を進め、生産合理化によるコスト競争力を強化するとともに、今後の成長に向けて生産能力を向上させてまいります。そして、各事業の販路の相互活用や、新たな販路への展開を進めることで販売機会の拡大を図るとともに、独自の素材や技術を活用して新たな価値を創出してまいります。

海外においては、マヨネーズと深煎りごまドレッシングでサラダ需要を拡大するとともに、各エリアの状況に応じた提案や開発を中国と東南アジア中心に行うことで、売上拡大により利益創出力を向上させてまいります。

なお、本年1月10日に公表しました2019年11月期の連結業績予想につきまして、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は変更ありませんが、売上高は100億円減の5,500億円に変更しております。

## 2. 四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,493	39,505
受取手形及び売掛金	77,034	78,081
有価証券	9,500	9,500
商品及び製品	16,695	16,847
仕掛品	963	1,697
原材料及び貯蔵品	10,595	9,992
その他	5,566	5,931
貸倒引当金	△446	△398
流動資産合計	158,402	161,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	181,314	182,875
減価償却累計額	△106,708	△108,649
建物及び構築物（純額）	74,605	74,225
機械装置及び運搬具	175,809	178,578
減価償却累計額	△123,835	△125,957
機械装置及び運搬具（純額）	51,974	52,620
土地	52,084	52,193
建設仮勘定	11,223	14,956
その他	25,150	25,423
減価償却累計額	△16,182	△16,711
その他（純額）	8,968	8,711
有形固定資産合計	198,856	202,707
無形固定資産		
のれん	1,233	1,106
その他	5,059	8,020
無形固定資産合計	6,293	9,126
投資その他の資産		
投資有価証券	29,673	27,024
退職給付に係る資産	11,552	11,678
その他	15,140	14,866
貸倒引当金	△181	△180
投資その他の資産合計	56,184	53,388
固定資産合計	261,334	265,223
資産合計	419,736	426,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,518	44,661
短期借入金	9,496	11,221
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	6,775	5,685
引当金	2,937	4,758
その他	27,160	22,942
流動負債合計	100,888	89,269
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	36,664	40,414
退職給付に係る負債	3,546	3,067
資産除去債務	1,123	1,123
その他	11,413	9,968
固定負債合計	52,748	64,574
負債合計	153,636	153,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,543	29,533
利益剰余金	183,431	190,274
自己株式	△15,859	△15,861
株主資本合計	221,219	228,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,618	8,756
繰延ヘッジ損益	△28	△15
為替換算調整勘定	△1,459	△1,850
退職給付に係る調整累計額	△4,018	△3,426
その他の包括利益累計額合計	5,112	3,463
非支配株主持分	39,768	41,020
純資産合計	266,100	272,535
負債純資産合計	419,736	426,379

## (2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
売上高	285,004	268,986
売上原価	218,871	203,106
売上総利益	66,132	65,879
販売費及び一般管理費	50,170	49,790
営業利益	15,961	16,088
営業外収益		
受取利息	35	45
受取配当金	292	251
持分法による投資利益	77	73
補助金収入	174	345
その他	398	638
営業外収益合計	978	1,354
営業外費用		
支払利息	172	151
為替差損	91	107
その他	131	246
営業外費用合計	396	505
経常利益	16,543	16,937
特別利益		
固定資産売却益	58	80
事業譲渡益	—	643
その他	33	75
特別利益合計	92	798
特別損失		
固定資産除却損	402	450
減損損失	—	642
その他	147	103
特別損失合計	549	1,196
税金等調整前四半期純利益	16,086	16,538
法人税等	5,329	5,302
四半期純利益	10,757	11,236
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,686	1,679
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,070	9,556

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年12月1日 至 2018年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年12月1日 至 2019年5月31日）
四半期純利益	10,757	11,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	△1,908
繰延ヘッジ損益	1	10
為替換算調整勘定	△584	△426
退職給付に係る調整額	644	634
その他の包括利益合計	244	△1,690
四半期包括利益	11,001	9,545
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,306	7,908
非支配株主に係る四半期包括利益	1,694	1,637

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,086	16,538
減価償却費	8,869	9,186
減損損失	—	642
のれん償却額	259	127
持分法による投資損益(△は益)	△77	△73
投資有価証券評価損益(△は益)	5	—
引当金の増減額(△は減少)	1,864	1,779
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	△479
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△996	△126
受取利息及び受取配当金	△328	△297
支払利息	172	151
固定資産除売却損益(△は益)	393	385
事業譲渡損益(△は益)	—	△643
売上債権の増減額(△は増加)	△2,936	△1,117
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,807	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	360	233
未払金の増減額(△は減少)	△173	△1,841
その他	△125	△441
小計	21,587	23,648
利息及び配当金の受取額	333	308
利息の支払額	△172	△164
法人税等の支払額	△4,210	△7,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,537	16,780
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,433	△14,245
無形固定資産の取得による支出	△512	△3,691
投資有価証券の取得による支出	△126	△24
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△9	△61
長期貸付けによる支出	△146	△369
長期貸付金の回収による収入	22	29
事業譲渡による収入	—	643
その他	△311	435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,516	△17,285
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,672	759
長期借入れによる収入	—	6,500
長期借入金の返済による支出	△1,109	△1,734
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△2,720	△2,717
非支配株主への配当金の支払額	△347	△449
自己株式の取得による支出	△2	△1
その他	△955	△714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,461	1,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	△145	△101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	414	1,034
現金及び現金同等物の期首残高	41,411	47,970
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	461	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,287	49,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社カナエフーズ（特定子会社）は、キューピータマゴ株式会社（特定子会社）を存続会社とする吸収合併をしたため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年12月1日 至 2018年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	91,338	61,198	49,588	8,172	4,798	67,000	2,906	285,004	—	285,004
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,458	55	2,245	162	160	15,342	4,995	26,418	△26,418	—
計	94,796	61,253	51,833	8,334	4,959	82,342	7,902	311,422	△26,418	285,004
セグメント利益	9,777	1,927	3,865	542	377	2,158	771	19,420	△3,458	15,961

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,458百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自2018年12月1日至2019年5月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調理・ 調味料	サラダ・ 惣菜	タマゴ	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	91,770	44,263	49,038	7,857	4,261	69,216	2,577	268,986	—	268,986
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3,180	64	1,850	505	232	15,387	4,896	26,117	△26,117	—
計	94,950	44,328	50,888	8,362	4,494	84,604	7,474	295,103	△26,117	268,986
セグメント利益	10,803	1,164	4,025	121	377	2,114	781	19,387	△3,299	16,088

(注)1. セグメント利益の調整額△3,299百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2019年度からの3年間を対象とする中期経営計画に基づき、より経営責任の領域に即した事業活動を展開するため、グループの事業推進体制を以下のとおり変更しております。

## ◇事業区分の変更

- ・従来の「調味料事業」に「加工食品事業」のアヲハタ株式会社部分以外を移管し、「調理・調味料事業」に名称を変更
- ・「加工食品事業」に含まれていたアヲハタ株式会社部分を「フルーツソリューション事業」として独立
- ・「物流システム事業」に含まれていた賃貸に関わる取引を「共通事業」に移管し、「物流事業」に名称を変更

## ◇全社費用について

- ・各事業に按分できない費用（本社経費など）を全社費用として区分

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「調理・調味料」で減損損失を550百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。  
2. 2019年11月期より、次のとおり変更いたしました。

## ◇事業区分の変更

- ・「調味料事業」に「加工食品事業」のアヲハタ株式会社以外を移管し、「調理・調味料事業」に名称を変更
- ・「加工食品事業」のアヲハタ株式会社部分を「フルーツソリューション事業」として独立
- ・「物流システム事業」に含まれていた賃貸に関する取引を「共通事業」に移管し、「物流事業」に名称を変更

## ◇全社費用について

- ・各事業に按分できない費用（本社経費など）を全社費用として区分

## (1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

## 【売上高】

(単位：億円)

旧事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2017年 11月期	調味料	343	397	740	393	1,132	372	1,504
	タマゴ	240	259	499	248	747	258	1,005
	サラダ・惣菜	275	293	568	298	867	288	1,155
	加工食品	110	123	232	120	352	114	466
	ファインケミカル	23	28	51	27	78	28	106
	物流システム	310	332	642	335	977	335	1,312
	共通	20	20	39	17	57	12	68
	合計	1,321	1,451	2,772	1,438	4,210	1,407	5,617
2018年 11月期	調味料	360	401	761	401	1,162	372	1,534
	タマゴ	242	254	496	249	745	264	1,009
	サラダ・惣菜	300	312	612	317	929	254	1,183
	加工食品	109	125	234	122	356	112	468
	ファインケミカル	21	27	48	26	74	26	100
	物流システム	326	344	670	356	1,026	356	1,383
	共通	14	15	29	12	42	17	58
	合計	1,372	1,478	2,850	1,484	4,334	1,401	5,735
新事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2018年 11月期 (A)	調理・調味料	433	481	913	482	1,396	447	1,843
	サラダ・惣菜	300	312	612	317	929	254	1,183
	タマゴ	242	254	496	249	745	264	1,009
	フルーツソリューション	36	45	82	41	123	36	159
	ファインケミカル	21	27	48	26	74	26	100
	物流	326	344	670	356	1,026	356	1,383
	共通	14	15	29	12	42	17	58
	合計	1,372	1,478	2,850	1,484	4,334	1,401	5,735
2019年 11月期 (B)	調理・調味料	431	486	918				1,898
	サラダ・惣菜	214	228	443				915
	タマゴ	234	256	490				998
	フルーツソリューション	35	44	79				162
	ファインケミカル	20	22	43				88
	物流	336	356	692				1,384
	共通	12	14	26				55
	合計	1,283	1,407	2,690				5,500
前年差 (B)-(A)	調理・調味料	△ 1	6	4				55
	サラダ・惣菜	△ 86	△ 83	△ 169				△ 268
	タマゴ	△ 7	2	△ 6				△ 11
	フルーツソリューション	△ 1	△ 2	△ 3				3
	ファインケミカル	△ 1	△ 4	△ 5				△ 12
	物流	11	12	22				1
	共通	△ 3	△ 1	△ 3				△ 3
	合計	△ 89	△ 71	△ 160				△ 235

※2019年11月期通期は、2019年7月4日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

(単位：億円)

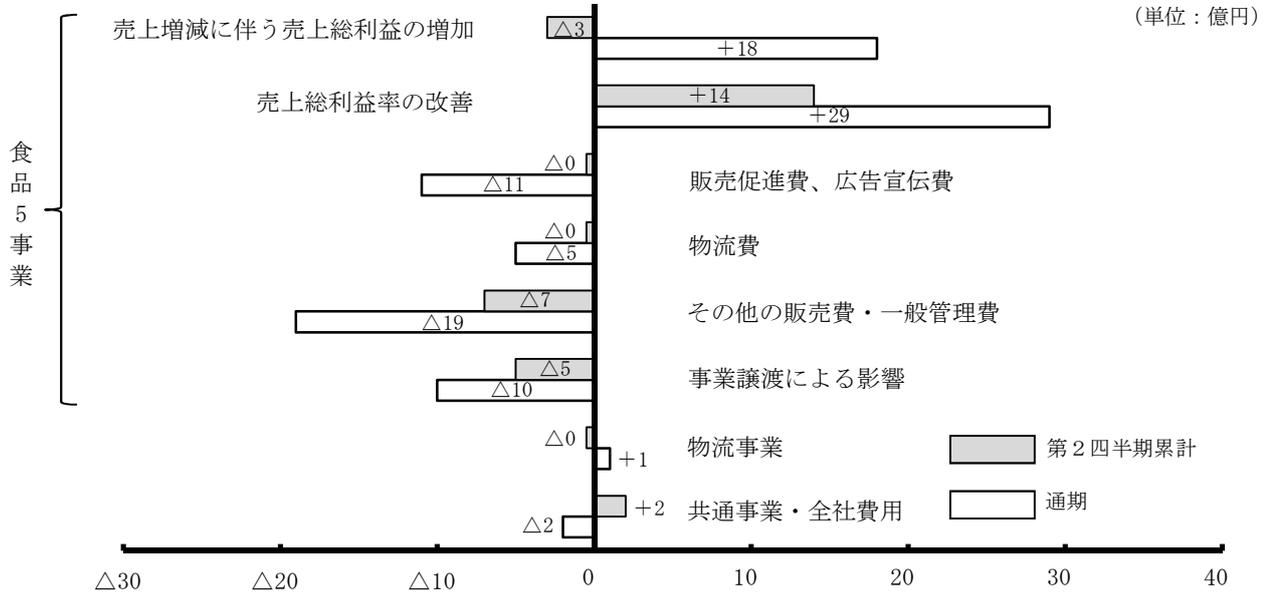
旧事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2017年 11月期	調味料	26	48	73	46	119	34	153
	タマゴ	10	10	20	13	33	11	44
	サラダ・惣菜	6	11	17	13	29	9	38
	加工食品	△ 1	3	3	3	6	△ 4	2
	ファインケミカル	△ 0	1	1	4	6	3	9
	物流システム	13	16	29	16	45	14	59
	共通	2	3	5	2	7	1	8
	合 計	56	92	148	96	244	69	313
2018年 11月期	調味料	26	45	71	44	115	29	144
	タマゴ	13	17	31	16	47	13	60
	サラダ・惣菜	6	14	20	14	34	10	44
	加工食品	1	4	5	3	8	△ 1	6
	ファインケミカル	△ 0	3	3	5	8	5	13
	物流システム	8	18	26	17	44	12	56
	共通	2	2	4	2	6	1	8
	合 計	57	102	160	102	261	69	331
新事業区分	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
2018年 11月期 (A)	調理・調味料	38	59	98	58	155	43	198
	サラダ・惣菜	6	13	19	14	33	10	43
	タマゴ	17	21	39	20	59	19	78
	フルーツソリューション	2	3	5	2	8	△ 1	7
	ファインケミカル	0	4	4	6	9	5	15
	物流	6	15	22	15	37	10	47
	共通	4	4	8	4	12	3	15
	全社費用	△ 17	△ 18	△ 35	△ 17	△ 51	△ 20	△ 71
	合 計	57	102	160	102	261	69	331
	2019年 11月期 (B)	調理・調味料	42	66	108			
サラダ・惣菜		2	10	12				32
タマゴ		20	20	40				83
フルーツソリューション		△ 0	2	1				3
ファインケミカル		△ 0	4	4				12
物流		7	14	21				48
共通		4	4	8				14
全社費用		△ 15	△ 18	△ 33				△ 72
合 計		60	101	161				332
前年差 (B)-(A)	調理・調味料	4	6	10				14
	サラダ・惣菜	△ 4	△ 4	△ 8				△ 11
	タマゴ	3	△ 1	2				5
	フルーツソリューション	△ 3	△ 2	△ 4				△ 4
	ファインケミカル	△ 0	0	0				△ 3
	物流	1	△ 2	△ 0				1
	共通	△ 0	0	0				△ 1
	全社費用	2	△ 0	2				△ 1
	合 計	3	△ 2	1				1

※2019年11月期通期は、2019年7月4日発表の計画数値を表示しております。  
 ※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、  
 第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益：増減要因（前年差）】

(単位：億円)

	2018年11月期 (A)	2019年11月期 (B)	前年差 (B) - (A)
第2四半期累計	160	161	1
通期	331	332	1



(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	2017年11月期 第2四半期累計	2018年11月期 第2四半期累計 (A)	2019年11月期 第2四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)	2017年11月期	2018年11月期	2019年11月期 計画
設備投資	162	132	161	29	272	321	414
減価償却費	81	89	92	3	168	182	191
販売促進費	19	19	18	△1	39	39	46
広告宣伝費	52	50	50	1	95	91	96
物流費	127	135	128	△6	258	268	264
労務費	155	162	166	4	313	327	341
研究開発費	19	19	19	△0	41	41	43

※2019年11月期計画は、2019年7月4日発表した数値を表示しております。

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）

		2017年11月期 第2四半期累計	2018年11月期 第2四半期累計 (A)	2019年11月期 第2四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)	2017年11月期	2018年11月期
家庭用	販売量(千t)	64	63	66	3	128	127
	金額(億円)	328	322	329	7	650	635
業務用	販売量(千t)	54	54	53	△2	107	107
	金額(億円)	203	207	200	△7	409	411

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

注) 2019年11月期より、次のとおり変更いたしました。

- ・事業区分の変更に伴い、「調味料事業」を「調理・調味料事業」に名称を変更
- ・「輸出・新規」を、「欧州」および「輸出」に区分を変更
- ・海外展開に按分した費用のうち、エリア別に按分できない費用を其他費用として区分

【売上高】

(単位：億円)

旧区分		2017年11月期 第2四半期累計	2018年11月期 第2四半期累計
中国		83	87
東南アジア		41	49
米国	調味料	32	32
	タマゴ	21	26
輸出・新規		21	34
合 計		197	227

(単位：億円)

新区分		2018年11月期 第2四半期累計(A)	2019年11月期 第2四半期累計(B)	前年差 (B) - (A)
中国		87	92	6
東南アジア		49	54	5
米国	調理・調味料	32	32	△ 1
	タマゴ	26	26	1
欧州		16	16	0
輸出		18	20	2
合 計		227	240	13

現地通貨ベース

2019年11月期 第2四半期累計 増減率
11 %
10 %
△ 3 %
1 %
7 %
—
—

※海外子会社の数値は、10月から3月を対象としております。  
 ※前年差の合計には、為替影響△5億円が含まれております。

【営業利益】

(単位：億円)

旧区分		2017年11月期 第2四半期累計	2018年11月期 第2四半期累計
中国		9	8
東南アジア		1	3
米国	調味料	2	2
	タマゴ	△ 5	1
輸出・新規		1	2
合 計		10	15

(単位：億円)

新区分		2018年11月期 第2四半期累計(A)	2019年11月期 第2四半期累計(B)	前年差 (B) - (A)
中国		8	14	6
東南アジア		3	4	1
米国	調理・調味料	2	2	0
	タマゴ	1	2	1
欧州		△ 2	△ 0	1
輸出		3	4	0
其他費用		△ 2	△ 2	△ 0
合 計		13	24	10

現地通貨ベース

2019年11月期 第2四半期累計 増減率
84 %
35 %
22 %
115 %
—
—
—

※海外子会社の数値は、10月から3月を対象としております。  
 ※前年差の合計には、為替影響△1億円が含まれております。

(5) 営業外・特別損益の主な増減内容

(単位：億円)

	2017年11月期 第2四半期累計	2018年11月期 第2四半期累計 (A)	2019年11月期 第2四半期累計 (B)	増減内容 (2018年11月期 第2四半期累計対比) (B)－(A)	2017年11月期	2018年11月期	2019年11月期 計画
営業外損益	5	6	8	補助金収入の増加 + 2 受取保険金の増加 + 2	13	13	12
特別損益	△ 8	△ 5	△ 4	事業譲渡益の増加 + 6 減損損失の増加 △ 6	△ 17	△ 8	△ 19

(6) 貸借対照表の概要、増減内容

(単位：億円)

	2018年11月期 (A)	2019年11月期 第2四半期(B)	増減 (B)－(A)	増減内容(2018年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,584	1,612	28	現預金の増加 + 10 売掛債権の増加 + 10 たな卸資産の増加 + 3
固定資産				
有形・無形固定資産	2,051	2,118	67	取得による増加 + 160 減価償却による減少 △ 90
投資その他の資産	562	534	△ 28	投資有価証券の減少 △ 26
(負債の部)				
	1,536	1,538	2	借入金の増加 + 55 未払法人税等の減少 △ 11 未払金の減少 △ 18 設備未払金の減少 △ 14
(純資産の部)				
	2,661	2,725	64	利益剰余金の増加 + 68 その他の包括利益累計額の減少 △ 16 非支配株主持分の増加 + 13

※2019年11月期の期首より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用しております。  
過年度数値につきましては、当該会計基準等を遡及適用後の数値となっております。

(7) キャッシュ・フローの主な増減内容

(単位：億円)

	2017年11月期 第2四半期累計	2018年11月期 第2四半期累計 (A)	2019年11月期 第2四半期累計 (B)	増減内容 (2018年11月期 第2四半期累計対比) (B)－(A)	2017年11月期	2018年11月期
営業活動による キャッシュ・ フロー	99	175	168	売上債権の増減額 + 18 法人税等の支払額の増加 △ 28	272	418
投資活動による キャッシュ・ フロー	△ 217	△ 135	△ 173	無形固定資産の取得による 支出の増加 △ 32	△ 314	△ 202
財務活動による キャッシュ・ フロー	195	△ 35	16	借入れによる収入の増加 + 50	40	△ 153

(8) 主要な経営指標等の推移

	2017年11月期 第2四半期累計	2018年11月期 第2四半期累計	2019年11月期 第2四半期累計	2017年11月期	2018年11月期
売上高（百万円）	277,186	285,004	268,986	561,688	573,525
営業利益（百万円）	14,791	15,961	16,088	31,261	33,067
売上高営業利益率（%）	5.3	5.6	6.0	5.6	5.8
経常利益（百万円）	15,246	16,543	16,937	32,511	34,349
売上高経常利益率（%）	5.5	5.8	6.3	5.8	6.0
四半期(当期)純利益（百万円）	8,047	9,070	9,556	18,099	18,320
売上高四半期(当期)純利益率（%）	2.9	3.2	3.6	3.2	3.2
純資産額（百万円）	257,208	271,294	272,535	263,432	266,100
総資産額（百万円）	412,737	426,422	426,379	417,710	419,736
自己資本比率（%）	53.8	54.6	54.3	54.2	53.9
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	9,882	17,537	16,780	27,234	41,778
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△ 21,717	△ 13,516	△ 17,285	△ 31,421	△ 20,199
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	19,544	△ 3,461	1,641	4,010	△ 15,293
フリーキャッシュ・フロー （営業CF+投資CF）（百万円）	△ 11,835	4,021	△ 504	△ 4,186	21,579
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(百万円)	49,072	42,287	49,005	41,411	47,970
有利子負債（百万円）	60,993	61,046	66,756	60,120	61,414
1株当たり純資産額（円）	1,469.76	1,584.81	1,618.50	1,539.94	1,582.27
1株当たり四半期(当期)純利益（円）	53.69	61.69	66.81	121.05	124.85
1株当たりフリーキャッシュ・フロー（円）	△ 78.96	27.35	△ 3.53	△ 28.00	147.06
1株当たり第2四半期(年間)配当額（円）	18.0	19.0	20.0	36.5	38.0
第2四半期末(期末)株価（円）	2,890	2,631	2,431	2,885	2,756

※売上高には、消費税等は含めておりません。

※この表における 四半期（当期）純利益は、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益になります。

※2019年11月期の期首より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用しております。

過年度数値につきましては、当該会計基準等を遡及適用後の数値となっております。